

# 竜 丘 村

1950.5

No. 14号

発行人 北澤小太郎  
 編集人 情 報 部  
 印刷所 龍共印刷社  
 発行所 竜丘村公民館

## 選ばれる代表二名(縣區)

### みんな揃って投票に

新憲法が出来て、政治の権利が国民に在る制度が確立され、國政のすべてはわれらの選出した代表に依つて國會で審議決定され、法律や予算が決められて、われらの日常生活に重大な關係を持つ事になる。

吾々の一票が誰を選ぶか。選挙権の正しい行使は國民の責任であり、権利である。

選挙日には、みんな揃つて投票に出かけよう。竜丘村の棄権は縣下で一番少かつたといわれる様な投票率を示そう。

## 参議院とは?

※國權の最高機關です、わが國唯一の立法機關  
 ※議員数は  
 ※二百五十名、百人は全國區選出、百五十名は府縣單位選出  
 ※仕事は  
 ①予算を作る ②法律をつくる ③條約を結ぶこと、承認

## 御挨拶

竜丘中學校校長竹上清人  
 突然の任命をうけて、去る四月十三日当村中學校長として赴任いたしました。鈍根非才の小器、皆さんの御援助に俟たねば存じますが、何卒よろしく御願いたします。

「水の自慢をするお里が知る」こゝにわけていますが、私はその自慢の筆頭とも云うべき谷深い大鹿を郷里として居ります。幼少北信の地に學び、一月村へかえつて月俸十二円也の代用教員を振り出しに、更に一年余の師範生活

を経て教育社會に入り、以来三十年、十余校を歴巡して今回こちらへ参りました。

當村は竜丘の名に背かず幾段丘を重ねつ、天龍の水城に臨んで眺望に勝れ、耕地廣く地味肥沃で、天恵豊かな農村に見受けられますが、人心も亦敦厚で一致諧和の氣風濃く堅實中正な経営によつて發展の一途を辿つて居る村と聞くが如く、正に然りとの感を感じました。教育を尊重してこれが向上に全村をあげて協力せられた長い歴史と傳統を持ち、そこに亦村としての風

格と見識を示している事も承知しましたが、學校施設、村教育体系の實際について見てもよく窺われると思ひます。

たゞ、學校の飲用水については恐らく數十年前、現在の生徒の半にも及ばなかつた頃の施設と思はれますが、小學校中學校を併設して千有餘の児童生徒を收容する現在では日常の飲用水にも事欠く場合があり、殊に渇水期多數の児童の參集するような時、水筒を携帯せねばならぬ場合もあると聞きます。保健衛生の面からも考えねばならぬ点もあ

りますが、これらの事情については皆さんも十分に了得せられ、水利施設の改善について鋭意研究を重ねられているこの事で有難い事に存じます

將來を併せ考えれば何千何万の學童の生命が安全且つ健全に保育されるか否かについての甚大な影響を持つ飲用水の事ですから、更に格段の御配慮と御協力を切にお願いいたします。

着仕早々お願いを併せて失禮ながら以上御挨拶といたします。

## 關東民事部へ通信の方法

(陳情書、請願、希望等をさうしたら良いか)  
 (一) 縣民事部には存在しないから各種行政、經濟學校及民間機關の援助指導の責任は關東地方民事本部東京九の内に三菱仲11号に移された同本部には厚生、行政、教育、

## 棄権防止標語常選發表

(青年團社會部募集)

(入選作)  
 國會の情落を防げこの一票  
 あなただけ棄権するのは恥かしい  
 我が一票 我らが國會

中田美穂  
 前島七五郎  
 下平一郎

中田美穂  
 森山利雄  
 桐生藤雄  
 市瀬勇  
 中島恒

この一票棄てず曇らさず  
 日本晴れ  
 この一票再建日本の誕生日  
 有権者揃つて行こう参議選  
 政治に参加するこの一票

投稿數三十五句、五月二十五日午後八時三十分より竜丘小學校に於て選考北澤公民館長、中島青年團社會部長外社

## 竜丘PTA役員決る

(昭和二十五年度)  
 顧問 前島頼輔、林省三  
 岡島康治  
 會長 前島秀夫  
 副會長 下平清、中田今朝子  
 和泉愛助、竹上清人  
 常任委員  
 (駄科) 代田喜一郎、北澤小太郎、代田豊子  
 鹽澤かもよ  
 (長野原) 今村恵一、小林いくえ  
 (時又) 岡島耕平、伊藤東一、今村ふき、河原きくえ  
 (上川路) 牧内珍美、杉本やすえ  
 (桐林) 中田美穂、中島久雄、中島かつ子、伊坪よし  
 (學校) 伊藤祐春、松尾利

## 四ヶ年無火災表彰に輝く

四月廿九日午後一時より竜丘村消防團春季演習並無火災表彰披露式を竜丘學校々庭に於て挙行した。

彰披露式を竜丘學校々庭に於て挙行した。全員整列後村長、團長の挨拶、團員訓練、分列の後縣及郡協会より無火災表彰を受けた。表彰状の披露。四十余年無火災で向一夜も警戒の目を許さない時又夜警班の表彰、永年勤続退團者の表彰、來賓者祝辭、閉式後團員手當の一部を會費として宴會を催した。尙勤續十五ヶ年以上の退團者で下伊那協會長より表彰者は左の通り。

前分團長 下平 操  
 沖田 茂  
 熊谷和志雄

前副分團長 増田 鈔  
 前班長 澤柳 茂雄

## 村の中堅青壯年を結集した

二十五年農事研究會の役員  
 會長 齋藤 正  
 副會長 長沼保治  
 理事 原 丙三  
 久保田勇  
 下平定治  
 今村 清  
 田中喜平

地區班長 氏名 員數  
 駄科下平地區 大平啓司 一〇  
 上平 木下純夫 八  
 桐林 林 一夫 一〇  
 下平 下平水城 一〇  
 上川路上平 小林章雄 八  
 中平 木下久男 一二  
 下平 増田 鈔 一二  
 長野原 小林郁夫 八  
 計八地區 八八

## 青年學園二年男子の該當者の入學希望調査

四月一五日郷土に即した高等教育をめざして新発足した青年學園は稚蚕共同飼育開始迄女子部は週四日の晝學、夜學男子部は同じく週四日の夜學稚蚕飼育開始後は男子部の夜

役員		部		部		部		部		部		部		部		部		部			
部	員	部	員	部	員	部	員	部	員	部	員	部	員	部	員	部	員	部	員		
總務部	代田喜一郎	教養部	中島久雄	施設部	岡島耕平	厚生部	伊藤東一	校外指導部	今村恵一	部	北澤小太郎	部	中田美穂	部	牧内珍美	部	中平恒三郎	部	久保田公志	部	折金さかえ
	小林いくえ		中島かつ子		今村ふき		河原きくえ		伊坪よし	部	和泉愛助	部	今村恵一	部	今村恵一	部	小林恒三郎	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	和泉愛助		今村恵一		今村恵一		折金さかえ		折金さかえ	部	小林恒三郎	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	小林恒三郎		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ		折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ	部	折金さかえ
	折金さかえ		折金さかえ</																		

### 養蠶復興と 経営合理化について

竜丘養蠶協 池田枝脚

養蠶経営の合理化は農業経営の合理化として大きな立場から行われなければならない。それは一般農事作業と有機的なつながりをもつて養蠶が行われているからである。

#### ★

養蠶経営に於て、その規模を決定することが第一である。それは基本的には桑園規模を適度に定めることである。しかしその規模は各農家により立地条件が違ふ故に一律にはいえないが、本村に於ては殊に地形的に桑の發育よく、養蠶にはすべての条件が適合されているので、往時の養蠶全盛時代に於ても本村が他村に比して産繭額も多かったのだと

### 本村の春蠶品種は どんな特長があるか?

◎大平×長安  
本種は日支二酸化雑種で優良生糸製造用に適する。

①性 状  
(一)卵色及蟻蚕体色 越年卵は藤紫色、蟻蚕は暗褐色である。

(二)蚕児の性状 体色は青白色でやや赤味を帯び個体間に濃淡がある。斑紋は形が僅かに姫を混じり蚕児の経過は普通、食桑活潑、虫質普通、收繭量普通である。

(三)繭質 繭は浅緑色で色白く縮緬普通、繭重比較的重く、繭層歩合は普通である。

(四)糸質 糸長長く解舒小類良好、繭糸織度は二、八デニール内外で糸歩合は日一五号新×支一〇八号に比し稍少いが歩掛はよい。

②飼育上の注意  
(一)食桑は各歳を通じて少食期が比較的短く盛食期の食桑は活潑であるから桑不足にならないよう特に催眠期の食桑は充分供給することが肝要である。

(二)催眠期七十七度以下で飼育する場合厚飼ひに失するから及壯蚕期の多量飼育換氣不良等は繭を不良にするから特に注意せねばならない。

(三)上簇中の環境が繭質特に解舒及小類に影響することには成績を示す所であり、従つてこれが注意の肝要なことは今更云ふ迄もないが本種は上簇後管繭開始までの期間が比較的長い故その際室内温度が低い場合は管繭を

思はれる。特に畑地の多い本村にとつてはこの畑地の経営如何によつて経済が左右されると言つても過言でないと思われ。畑地の高度利用こそ経営の合理化、改善の第一歩と思はれる。

### 果樹の摘果及袋掛に就いて

農協指導部

復興が圖れる譯であり、此の点他の換金農作物にくらべてその比でない。先づそれには急速なる桑園復興が第一である。現在の桑園能率は過去十

緊急性要なる

一、摘果  
果樹に於てはその木の能力以上に果實が多すぎると

二、袋掛  
それ以上の重い負擔を掛けな

三、摘果  
剪定や肥料も大切であるが

四、袋掛  
結果枝の上に真下をむいた

五、摘果  
をさけ又病蟲害に注意して

六、袋掛  
リンゴは梨と反対に中心より

七、摘果  
開いて次第に下に向つて

八、袋掛  
中心果は開花早き為

九、摘果  
袋掛を終るの安全である。

十、袋掛  
梨の消毒は五月中旬下旬

十一、摘果  
〇硫酸鉛、BHC加用六斗式

十二、袋掛  
ポルディー液

昭和二五年度水稲採種圃設置  
竜丘地区農業改良事務所  
農業協同組合  
農事研究会

昭和二五年度水稲採種圃設置  
一、採種圃  
①分場配付のもの  
伊那穂号 一五畝 久保田重美  
農林元号 二〇〇 久保田吉郎  
農林三号 一〇〇 林 市郎  
②支部配付のもの  
農林三号 一〇畝 木下純夫  
農林元号 八畝 大平 馨  
農林三号 五畝 森山 昇  
伊那穂号 五畝 中島孝治  
農林元号 五畝 中島孝治  
農林三号 五畝 高島隆治  
二、二、四D展示圃  
五畝 池田和由 駄科上平地区  
大平晴司 下平地区  
岡村市郎 桐林地地区  
中島孝治 〇〇  
田中啓一 上川路下平  
小林家司 長野原地区  
未定 上川路中平  
三、水溫調査 自昭二五、四、一五至二五、一〇、三〇  
大平 薫 駄科下平地区  
田中治男 〇 上平  
吉川正三 桐林地地区  
中田美壽 〇

昭和二五年度水稲採種圃設置  
一、採種圃  
①分場配付のもの  
伊那穂号 一五畝 久保田重美  
農林元号 二〇〇 久保田吉郎  
農林三号 一〇〇 林 市郎  
②支部配付のもの  
農林三号 一〇畝 木下純夫  
農林元号 八畝 大平 馨  
農林三号 五畝 森山 昇  
伊那穂号 五畝 中島孝治  
農林元号 五畝 中島孝治  
農林三号 五畝 高島隆治  
二、二、四D展示圃  
五畝 池田和由 駄科上平地区  
大平晴司 下平地区  
岡村市郎 桐林地地区  
中島孝治 〇〇  
田中啓一 上川路下平  
小林家司 長野原地区  
未定 上川路中平  
三、水溫調査 自昭二五、四、一五至二五、一〇、三〇  
大平 薫 駄科下平地区  
田中治男 〇 上平  
吉川正三 桐林地地区  
中田美壽 〇

昭和二五年度水稲採種圃設置  
一、採種圃  
①分場配付のもの  
伊那穂号 一五畝 久保田重美  
農林元号 二〇〇 久保田吉郎  
農林三号 一〇〇 林 市郎  
②支部配付のもの  
農林三号 一〇畝 木下純夫  
農林元号 八畝 大平 馨  
農林三号 五畝 森山 昇  
伊那穂号 五畝 中島孝治  
農林元号 五畝 中島孝治  
農林三号 五畝 高島隆治  
二、二、四D展示圃  
五畝 池田和由 駄科上平地区  
大平晴司 下平地区  
岡村市郎 桐林地地区  
中島孝治 〇〇  
田中啓一 上川路下平  
小林家司 長野原地区  
未定 上川路中平  
三、水溫調査 自昭二五、四、一五至二五、一〇、三〇  
大平 薫 駄科下平地区  
田中治男 〇 上平  
吉川正三 桐林地地区  
中田美壽 〇

昭和二五年度水稲採種圃設置  
一、採種圃  
①分場配付のもの  
伊那穂号 一五畝 久保田重美  
農林元号 二〇〇 久保田吉郎  
農林三号 一〇〇 林 市郎  
②支部配付のもの  
農林三号 一〇畝 木下純夫  
農林元号 八畝 大平 馨  
農林三号 五畝 森山 昇  
伊那穂号 五畝 中島孝治  
農林元号 五畝 中島孝治  
農林三号 五畝 高島隆治  
二、二、四D展示圃  
五畝 池田和由 駄科上平地区  
大平晴司 下平地区  
岡村市郎 桐林地地区  
中島孝治 〇〇  
田中啓一 上川路下平  
小林家司 長野原地区  
未定 上川路中平  
三、水溫調査 自昭二五、四、一五至二五、一〇、三〇  
大平 薫 駄科下平地区  
田中治男 〇 上平  
吉川正三 桐林地地区  
中田美壽 〇

### 所得税法は

#### こんな様に変ったか?

昭和二十五年から所得税法が改正になります。今度のシャープ税制使節の報告を基に、国税は軽く地方税(県税、村税)は、地方自治体の財政の基礎を確立するため相当重くなります。

改正された所得税法を左に挙げて参考します。農産物供出代金や商業者の日掛貯金等を納税準備金にされ納税に支障のない様御勧めします。

(一)基礎控除 所得者毎に二萬五千元

(二)扶養控除 扶養親族一人に付て年額一萬二千円を納税義務者の所得から控除する

扶養親族とは年令の如何を問わぬ納税義務者を生計を一にする配偶者、その他の親族で所得金額が一萬二千円以下であるもの。

(三)勤勞控除 ①給與については収入金額の中二十萬円までの金額については百分の十五(舊法百分の二十五)の控除に改められた。

②退職所得については新たに収入金額の百分の十五の控除を行う事になりました。

### 児童不良化促進週間

(橋本 玄進)

ひねくれた物の云い方をするのは良い事ではないが、事實そう感じたので許して下さい。児童福祉週間(母の日)云ふことで、五月初旬から中旬にかけて人々の口にも新聞や雑誌にも、児童が母を殺した言葉や、文字が溢溢しました。そして数々の行事が行はれました。それは誠に結構な事でした。結構な人にはね。

ボロを着て、みすばらしく立つてゐる貧しい子供達や、親のない不仕合せな子供達にはこの週間もむしろ悲しい涙の週間でした。

こんなに求めても得ることのできない子供達へその得ることのできないものを目の前に氾濫させてヤンチャはやし立て、これでもかこれでもかで見せびらかすだけで終つてしまふのでたまらませんよ。殘虐云ふか冷酷云ふか、いや善良すぎる好人物ばかり

### 特別控除

①不具者については年額一萬二千円の特別控除(所得から)従つて不具者である扶養親族については不具者として一萬二千円計二萬四千円の控除ができます。

②震災、風水害、火災、その他これに類する災害又は盗難に因り受けた損失の額が納税義務者の所得金額の十分の一を超過するときは、その超過額を所得金額から控除する(但し保険金、損害賠償金で補填された金額を除く)

③納税義務者又はその扶養親族の療養費として支出した金額が所得金額の十分の一を超えるときは、その超過額(最高十萬円)を所得から控除する。

(四)所得合算範囲の縮小 ①原則として同居親族の所得の合算は廃止され各所得者ごとに課税される事になりました。

### 村税引當

#### 備蓄納金實施決る

五月十二日村會は地方税決定の暫定措置として村税納入の引當の爲、目標金額を定め村民の理解ある納入を求め事になった。方法は村税目標四〇萬円の十ヶ月分割を五月から八月迄毎月納入する右の納入に對しては百分の五分の一を超えるときはその超過額(最高十萬円)を所得から控除する。

(五)所得合算範囲の縮小 ①原則として同居親族の所得の合算は廃止され各所得者ごとに課税される事になりました。

### 児童福祉週間

児童福祉週間をめぐり寄つて

子供達を泣かす爲めには大いに功果的であつたでせうね。念が入り過ぎてウンザリしました。不幸な子供達はできるだけシタゲよ云ふ文部省の方針かも知れません。犬でも猫でも有りませぬ立派な人間の子供です。なぶりものにされ、はづかしめられたいげられて嬉しくも愉快でもありません。羨望、孤獨、絶望、嫉妬、怒り、そして逆逆するが、自殺より外にないのです。

泣いて、泣いて、苦んでゐるのです。そう云ふ風にしておいてから不良化防止もヘチマもないでせう。それからではもうおそい。

これ等不幸な少年少女がやがてチンピラの尖兵になつて他の善良な子供を不良化する爲めに献身的な努力を提供してくる事になるでせう。

「さまあ見ろ、あわてるな、見つこもない」社會への嘲笑の鼻をうごめかし、ソツポを向いて舌を出す不良青少年達、一種のこれは復讐なんです。



### 私たちの言葉

農繁期の託兒所を聞いて下さい。(主婦)

課税されます。

イ、納税義務者を生計を一にする配偶者は未成年の子等が資産所得を有する場合にはその資産の所得の金額

ニ、納税義務者の扶養親族(ニを参照)として控除を申告した場合にその扶養親族の所得の金額

④一つの給與の支拂者から給與所得の支拂を受ける場合(一)つて給與の所得(収入金額が三十五萬五千円)扶養控除を差引いて、以下でその他の所得(農業所得その他)金額が一萬円以下の場合六月申告の提出の要はない

### 原稿募集

必ず筆集論 随言 詩 小説 学校 日記 生活 雑記 希望 依り進呈 短歌 活劇 内係 御希望 依り進呈 探偵 先 役場長 御希望 依り進呈 原稿用紙 御希望 依り進呈

目標 私達村の良村報を作ら

### 村の歴史

#### 龍門寺が

松尾村にある臨濟宗瑞雲山龍門寺が今から四百年程前に史料に開基され、その後現在の處へ移つた。その歴史の一駒伊那史料書第七巻伊那神社佛閣に依る。

「人皇第六代正親町院御年元龜年中松尾の城の南駄料村

### 村内ぼれ話

米も、麦も、超過供出にどん／＼出す農家が、精米、製粉、製麦の利用工場にこそ至極開散とか、金づまりと食糧のやみ値低下が最も大きい原因か?

一つの事や氣の長い話に入山山分間問題と龍西一貫水路があり、氣の短い話に税務署の税金の督促と取立がある

政党か、人か

一九〇〇粒と申しただけではわからないが、これは春蠶十瓦のお蠶様の卵の量、本村で約九〇〇瓦を掃立てると卵の数がいくらになりますか開人は計算して見て下さい

不衛生な飲用水として本村中學生の學校の水調査に依ると水質は一リシトル中に「有機物十四ミリグラム」「鉄分六ミリ瓦」「鹽分一ミリ瓦」あり有機物が九ミリ瓦以上は有害とされて居るのに全校の生徒毎日その水をガブリ

某篤農家「こゝ毎日會議が多くてはやりきれん、今日は何か委員会、今日はPTA、明日は何とかで、一重持参何が彼をかく云わしおるのか

入會山の巡視問題「村と青年團圓と意見不一致もつと話し合つたらどんなものか

「五百万ちやない」「いや、つど「六百万か」そらどが見當がつかん」何の話かと思つたら今度の参議院選挙に候補者がいくら位費うちと云う同評定。いつの世の中でも氣にかゝるものは他人の懐工合と雨洩りの屋根

### 村の歴史

#### 駄科にあつた話

の内鈴岡の城脇に開基す。則松尾城主小笠原下總守源信貴法名。龍門院殿高嶺守賢大居士之靈場也。導師は本山の開山和尚より九代文冠和尚を開山の祖とす。後に鈴岡より今の所に引移す。鈴岡古跡を今龍門寺曲輪と云。慶長の始寺を移し、全六年朝日黨永の証文寺領貳石被付其後御改飯田長久寺領一紙に被下則長久寺に納る也。

本尊は春日の作に而御長一十八分の金佛觀音也。則小笠原下總守源信貴之守本尊にして當寺に安置す。

其後彼金佛を今の本尊の胸中に奉納す。記されて居る。元龜年中云ふ足利義昭が勢力を奮つた時代、戰國争亂の最中に駄科に龍門寺が開基され、後に移された事について村内に何か資料のある家があつたら知らして下さい。

### 豆ニユース

(五月中の村内)

この位荷が出るか  
平岡町の野菜  
五月一日農協に於て野菜出荷組合は役員会を開き、満島へ送る野菜の件を協議。

### 入學記念樹植樹

一年生クラスPTAは五月一日午前十時、校門南口に吉野櫻一本を記念に植えた。可愛い一年生、手に手に握りの土をかけた。さつちが早く大きくなるか、伸びてこませようというところ。

### 公民館

運営協議会開かる  
五月六日午後二時役場に於いて開催。出席委員拾名、協議事項

### 公民館分館長 事業部長会議

五月六日午後四時役場に於て事業運営の今後に対する打合せ開催

### 塚平常務理事

五月六日農協理事會は常務理事塚平常務理事の常務理事を承認し、岡村組合長、林事務の二本立てで農協運営が為される事になった。

農協組法が改正されて出資した、二十三年八月以降常務理事として又時又支所常務理事として積極的經營に努力した氏は少壯常務理事として組合員から惜しまれて去る事になった。

### 桐林分館チームへ 優勝旗

春季野球大會に  
五月七日竜丘學校々庭に開催の全村分館對抗野球は小粒作ら長野原分館良く敢闘して桐林最後の決勝戦を争ひ次の結果で敗退した。

### 優勝旗

この日晴天に恵まれ、先ず前年の優勝旗が時又分館から返還され、午前九時試合開始  
第一回戦  
駄科(3A)×芙蓉(2)  
時又(0)×上川路(1)  
第二回戦  
駄科(8)×長野原(10)  
桐林(9)×上川路(5)  
決勝戦  
長野原(7)×桐林(17A)  
終了は午後四時、桐林チーム依りPTAより下平清氏が任

### 稚蚕共同飼育に奮闘

(青年學園女子部)  
村の全養蚕農家の養蚕安定に經費の節減を担つて青年學園は女子部を擧げて稚蚕飼育に協力、卒業生を交えた三十三名は五月十二日より二十三日迄飼育指導をうけて、元氣一杯奮発激しい作業に従つた。

### 本年度春蚕 掃立対策

五月九日午後一時農協に部落養蚕組合長會を開き、掃立の具体策指示。即ち蠶品種は大平×平安 蓬米×千華 第一号は五月十三日(前年度十八日)全体の六〇%。第二号は五月十六日(前年度二十一日)全体の四〇%。

### 村議辭任 婦人議員減る

本村議會の紅一点婦人會長の井口あいは東京轉住の爲村議を辭任、五月十二日村會終了後記念撮影を行ひ送別會を開いた。

### 味噌の準備

小中PTAは五月十二日より十五日迄給食用味噌たきを實施、毎日委員が十數名宛出勤して火をたいたり、味噌玉を作つたり、麴を混ぜたり、數量は合計で四石五斗

### 川のはごりにて

「中學三年のノートより」  
小林 法子  
ざざーつ ころ  
しまりのガラスの器の様な帯のようになつて  
水がおさる  
ほとばしる  
眞白なしづき  
ざざーつ ころ  
すべての物音が  
眞白なあわが勢よく流れて  
次の段に吸い込まれる  
ぱーつと消えるあわ  
後からく消えるあわ  
ゆつたりと流れて行く  
と、急にどこか幼な兒の聲  
いつ来るかわからない友達を  
一人ぼんやり待つていた  
私に気がついた

### 農家經濟の確立は 先ず記帳から

五月十八日午後一時本村農協で農家簿記の普及實施上各村の農業改良委員會指導員が集合し、體驗上の問題から農家簿記研究会を開催した。

### 危いトン、コレラ

五月十五日日本村では豚公連の一齊コレラ予防注射が實施した。トン公しきりにブウウウ

### 春蚕掃立始まる

五月十三日稚蚕共同飼育本年春蚕は第一号掃立を行つた。本年は松本養蚕試験場練習生五名に本村青年學園生徒を加え、池田主任の指導も全員張り切つて稚蠶の第一歩が始まつた。

### 乳牛の子備登録

五月十六日午前九時より農協構内は白黒まだらの乳牛で一杯になつた、長村以外龍峽六

### 村報編輯をさぐるか 研究会開催

五月十五日午後三時役場で開催、忙しのか出席者少數だが、出席者は熱心に意見の交換をした。

### PTA常任委員會 開かる

五月十六日午後四時より、記念館において開催  
(一)本年度事業計画並に予算(別表)  
(二)PTAブロック會議について

### 就職斡旋を 行うか?

五月十六日PTA常任委員會に於て中學卒業兒童の就職對策委員會確立を今から進める可きだ意見が一致、村當局と連絡して急速に設置が要望された。

### 素人の編輯した村報

五月十七日午後一時、飯田市町村會館に於て郡公民館運営協議會、郡壯年團の共同主催で信毎林武夫氏を中心し各村民館長、村報關係者が約四十名出席、各村の館報を批判して研究會を開いた。

### 部門別經營の再検討を行つた

五月十九日午後二時より二五年度の事業計画を研究したが結論は

### 副業視察に關西へ

五月十九日午後一時より下久堅學校においてPTAブロック會議開催、郡連合會報告各村予算事業計画等報告

### 新任婦人會長決る

本村婦人會長井口あいは一身上都合で東京へ轉任を決定、家庭を移轉したので后任婦人會長を役員會に於て選任中の處科代田さき氏と決定した。

### 農協理事會

五月十九日午後二時より二五年度の事業計画を研究したが結論は

### PTA龍峽ブロック會開かる

五月十九日午後一時より下久堅學校においてPTAブロック會議開催、郡連合會報告各村予算事業計画等報告

### 棄權防止の打合せ會

五月二十六日午後一時地方事務所長、教育事務所長の連名召集で近つた六月四日午前

### 編輯後記

★原稿が山積してどれを次號に選ぶか、どれを省くか忙しい困難のうち編輯を終る

★原稿が山積してどれを次號に選ぶか、どれを省くか忙しい困難のうち編輯を終る

★原稿を書き居ると新かなづかいや制限漢字かどうか迷つて思案する、自分の編輯子の頭は一度六三制教育を受け直すつもりで良いかも知れぬ人生いつ迄たつても勉強せねばならない事をつくづく思う

★秋には下伊那各村で出している村報、館報の編輯コンクールをやりたいと郡の會議(五月十七日)に話が出た

★この新聞が村内の皆様に配られる頃はおそらく夏刈りの前、美濃の最盛期、一日の労働でくたくたになる頃だ

★この新聞が配られる頃、一枚の村報に盛られた記事を開き、読んで感想を聞かしていただき度

★館報に紙面の片隅を廣告(主に商店等)出し居るのがある可否の意見を聞かして下さい

★だんく、取上げ度いのが「村の歴史」から出た人物評論をして「産業副業案内」に「婦人と家庭の真実」あ、構想は霞の如く實現は霧の歩みの如くかも知れないが?